



～ 自他共栄～ NO.41

2025年6月5日

発行責任者 根岸 大智

編集責任者 情 宣 部

会社：『業績が近い”22年夏並み”を目指したい』
組合：会社の考えは到底納得できない！再考を求める！

2025年夏季手当第3回交渉～会社の考え～

会社の考え

- ・2024年度は4期連続の赤字となったが、社員の頑張りによって前年度から業績が大幅に改善することができた。これは社員の努力によるものである。
- ・直近5月は△8億円と厳しいが、挽回策として飲料や備蓄米輸送を行なう。また、31ftコンテナで片荷にならないように同じ業種でマッチングさせ、増収に繋げていく。
- ・離職率が上がっており24年度は2.38%となった。離職防止として、メンター制度などの対策を講じる考えである。
- ・輪軸に関する対応では、事故なく対応されたことに感謝している。引き続き、ステークホルダーに対して信用を取り戻していく。

青年部の主張

- ・物価上昇により、青年部員の生活は厳しく、我慢を強いられている！
- ・慢性的な要員不足の中、輪軸の対応や安全・安定輸送を維持してきた。超勤や休日出勤など協力してきている中で、今夏季手当への青年部員の期待は大きい！
- ・2024年度決算において大幅な収益改善を達成できたのは、職場で奮闘する青年部員の成果である。「直近半期」決算で判断するならば、誠意ある回答を示すべきだ。

2. 9カ月満額回答を強く求める！
満額回答を勝ち取る為にFAX行動を貫徹し最後まで共に闘い抜こう！